

## 名前 \_\_\_\_\_

## 理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 確認テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

## 担当より一言

今回と次回で太陽について学びます。

今回のポイントは次の点です。

- ・ 太陽の表面の温度は約 6000℃、「黒点」という温度が低い点がある。
- ・ 太陽の直径は約 140 万 km。
- ・ 太陽は東の方から出て南へのぼり、西の方へ沈む。真南にくることを「南中」、そのときの高さを「南中高度」という。
- ・ 日本の時刻は東経 135° にある「兵庫県明石市」で太陽が南中するときを 12:00 と定めている。

理科では覚えなければいけない様々な数がありますが、それだけを覚えようとしても忘れてしまいやすいので、他のことと関連づけるのも良い方法です。太陽は遠くから見ると何色に見えるか、直径は地球のおよそ何倍なのか、も確認してください。

太陽は東からのぼるので、東にある場所ほど南中時刻は早くなります。東京や福岡などでは、南中する時刻は 12 時より早いのか、それとも遅いのか、考えてみましょう。

※ G 模試の範囲は、第 1 回～第 7 回の内容です。

週テスト・確認テストの復習や、宿題で間違えた問題を解き直したうえで G 模試にのぞみましょう。

**社会**

**基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。**

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 確認テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

**応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	
② 都道府県の確認（引き続き、都道府県名・位置などを覚えよう）	

**発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は、地図の「方位」と「地図記号」について学びました。

まず方位について。方位の便利さ、わかりましたか？

相手に場所を伝えようとしたときを考えてみましょう。「右」や「左」という言い方だと、相手と見ている向きが違くと伝わりませんね。でも「東」「西」「南」「北」だと、どこを向いていても同じ方向になるので、確実に伝えることができます。今日学んだ八方位のほか、十六方位というものもあるので、興味がある人は調べてみるのもよいでしょう。

続いて地図記号。これは、入試でも知らないと解けない問題が多いので、正確に覚えることが大切です。覚えるときには、なぜその記号の形になったのか、似ている記号との違いは何か、に注目すると頭に入りやすいです。チャレンジ問題は授業で扱っていますが、ここにある地形図を見て、地図記号を探すだけでも力になります。もちろん、何の地図記号かを考えながらです。時間のある人は、ぜひ地形図をながめてみましょう。

春期講習中は、翌日が次の授業ということもありますが、基本問題A・Bは、次の授業までに取り組むようにしましょう。

また、第3回の都道府県の回を終えましたが、まだまだ確実と言えない人もいます。都道府県名や位置について覚えていない人は、引き続き覚えるようにしましょう。少なくとも春期講習中に名前と位置は言えるようにしておいてください。

※G模試の範囲は、第1回～第7回の内容です。

週テスト・確認テストの復習や、宿題で間違えた問題を解き直したうえでG模試にのぞみましょう。